

11月6日から12月15日に実施した秋の読書月間の取り組みについて紹介します。高等部の図書委員メンバーが読書月間を盛り上げるためにたくさん協力し、充実した期間となりました。今回のおたよりには前期図書委員の生徒が書いた記事も載っていますので、ぜひご覧ください。

## 個性を感じるそれぞれのお気に入りの本の紹介

秋の読書月間がありました。期間は11月6日から12月15日まででした。図書委員のみんなでいろいろな案を出した中で、「おすすめ本紹介」を実際にやってみることにしました。さっそく、高等部の先生方と生徒に高等部の図書室から一番お勧めしたい本を紹介してもらいました。カードに書いてもらい廊下に掲示しました。生徒たちは、他の人のカードを見て、「この本知ってる」「聞いたことがある」「今度図書室に行ってみよう」と話をしていたので、図書委員としてうれしかったです。特に話題になったのは、「山と食欲と私」、「かがみの孤城」、「決定版日本の給料&職業図鑑」、「聲の形」です。

読書月間前には、図書室に来る生徒は少なかったです。しかし、読書月間が始まるとすぐ、今まで図書室に来なかった人が来てくれるようになり、図書室は賑やかになりました。さらに、読書月間中に新しい本が入ったので、本を借りる人も増えました。

読書月間は終わってしまいましたが、これからも図書室にたくさんの人が来て、本を手にとって読んでほしいと思いました。また、友達や先生と本の話について盛り上がる図書室になってほしいと思いました。そのため、課題を見つけて図書委員のみんなと協力して対策していきたいと思います。

(文・令和5年度前期図書委員)

### 新しい本が配架されました

- ・絶滅危惧昆虫図鑑 (レヴォン・ビス)      ・おべんと帖 百 (伊藤まさこ)
- ・キミの心をラクにする簡単なヒント 大人も気づいていない48の大切なこと (Testosterone)
- ・旅地図 日本-全国の名所を巡る紙上旅行-      ・静岡のトリセツ 地図で読み解く初耳秘話
- ・デフ・ヴォイス 法廷の手話通訳士 (丸山正樹)      ・龍の耳を君に (丸山正樹)
- ・もののけ達の居るところ1・2 (神原オホカミ)      ・魔女と猟犬4・5 (カミツキレイニー)
- ・54字の百物語 (氏田雄介)      ・神様の御用人10 (浅葉なつ)
- ・余命一年と宣告された僕が、余命半年の君と出会った話 (森田碧)
- ・山と食欲と私7・8・9 (信濃川日出雄)

# 12月16日に読書会が開かれました！

沼津市立図書館の職員お二人を講師としてお招きし、読書会を開催しました。まず初めに、講師の方が「たくさんさんのドア」という絵本の読み聞かせをしてくださいました。高校生も楽しめる内容で、どの生徒もとても興味深そうに聞いていました。

後半は、沼津市立図書館のおすすめの本を紹介していただきました。小説、絵本、写真集、実用書、洋書、詩集など、様々なジャンルの本を20冊以上持ってきてくださいました。生徒は、自分の興味のある本を手にとって読んだり、友達と見せ合ったりして楽しんでいました。中でも特に盛り上がっていたのは「目で見える単位の図鑑」という本でした。学校の図書室にはない本をたくさん知ることができ、興味の幅を広げることができたと感じました。これを機に、地域の図書館にもぜひ足をのばしてみてほしいと思います。

## 【生徒の感想より】

- ・あまり読まないジャンルの本もあったが、紹介されるとおもしろいと感じるものがあった。
- ・紹介された本をもう少し読んでみたいと思った。
- ・おすすめの本の中からいろいろ探して読めて、とても楽しかった。

## 【沼津市立図書館おすすめの本】

- ・大人になるっておもしろい？(清水真砂子) ・江戸の怪奇譚 人はこんなにも恐ろしい(氏家幹人)
- ・二番目の悪者(林 大木 作・庄司ナホコ 絵) ・アリスの不思議なお店(フレデリック クレマン)
- ・古典がおいしい！平安時代のスイーツ(前川佳代・宍戸香美) ・奇跡の夢ノート(石黒由美子)
- ・薬屋のひとりごと(日向夏) ・日々是好日(森下典子) ・本と鍵の季節(米澤穂信) など

